

2011.1.11 「自主防衛とデフレ脱却の旗を揚げよ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本年も一年よろしくお願いいたします。

今日は1月11日ですが、未だに国会の日程が決まっています。先国会での問責決議で、国会が始まる前の仙谷官房長官と馬淵国交大臣の更迭を我々は求めています。彼らもそれに合わせて内閣改造をするようですが、党内のいざこざで人事や方針が決まらないようです。そのために国会をいつから開会するのかさえ決まらないという「ないないづくし」なのです。思い起こせば菅内閣が誕生したのが昨年6月でした。それから半年経っていますが、国会が開かれたのは、先の臨時国会の2ヶ月間だけで、その他の間は全て党内抗争に追われているという状態です。本来、今回の予算も早いうちから立てないと衆参でねじれているわけですから期限内成立が危ぶまれるわけです。かつて自民党が与党だったときも参議院でねじれが起きていましたが、この時は通年国会と言われる位年末ぎりぎりまで国会をやり、年初1月4日から国会を始め、国会に時間をかけて議論してきたのです。しかし、今の民主党政権は国会自体を開かないという暴挙に及んでいるのです。

彼らはなぜ国会開会を渋っているのでしょうか。それは国会を開くと自分たちの言ってきたことの矛盾、つまりマニフェスト問題や、予算の中身、政治とカネの問題等がどんどん追及され、それに対して答弁が出来なくなるからです。

国会が立ち往生するとますます支持率が下がり、そして支持率が下がると困るものだから、彼らは国会を開くことが出来ないのです。しかし、何の為に国会を開くのかを考えてみて下さい。それは国民生活を守るために様々な予算や法案などを議論するために他なりません、彼らはそれよりも自分達の政権を維持することに汲々としています。だから国会を開けず、党内抗争に明け暮れているのです。彼らはいつもこういう事を繰り返しています。

今年は、このように間違った菅政権を一刻も早く辞めさせなければなりません。そのためには我々自民党がこの民主党政権に対する反旗を翻していかなければなりません。そして、その旗は二本あると私は思っております。一つが自主防衛の確立です。昨年、尖閣問題が教えてくれたことは、自分達の国を自分達で守らなければどうにもならないということです。民主党の尖閣と普天間の失敗によって日米安全保障の体制が悪くなりました。これを取り戻すために、アメリカにすがりついて「TPPでも何でも受け入れますから、とにかく守ってください」という屈服した土下座外交を彼らは行っていますが、これでは日本の国は救われません。第一に、日本が自主防衛の旗を掲げる事が大事です。それが自民党時代からきっちり出来ていなかったという批判もありますが、あの時代はまだ中国に軍事力も経済力もありませんでした。今の状況はその時と随分違うわけですから、自民党がはっきりと政策を自主防衛に転換しなければならないと思います。

二つ目がデフレ脱却です。デフレ脱却のためには、結論から言えば **GDP** を上げる以外に無いのです。これはたとえ話で聞いて頂ければ分かると思います。例えば、皆さん方が **2000** 万円ほど借りて、マンションを買ったとしましょう。そのローンを返すために月給 **30** 万円の中から **10** 万円ずつ返す、そういう住宅ローンを組むとします。ところが景気が悪くなって残業が少なくなるとお給料が減ってしまいます。そうすると節約をしてローンを返済することになると思いますが、不景気が続くと残業手当が無くなるどころか毎年の給料自体が少なくなってしまう。これでは住宅ローンを返せなくなり、破産しなければなりません。ですから、節約では借金が返せない、借金を返そうと思えば月給を増やす必要があり、月給を増やすために皆が協力して会社の利益、売り上げを上げなければ駄目なのです。

同じ事が国にも言えます。国債を返済するためにどんどん節約していつて返せるものではありません。積極的に返済しようと思えば先ず税収を上げるべきです。税収を上げようと思えば、国民の **GDP** 全体を大きくしていかなければなりません。しかし、それを実行するのに、民間任せでは通用しない時代になっています。それは中国という隣国が大国になったからです。人件費などの固定費を安く押さえる為に中国で事業を行うと、お金が流れていき、国内の経済が空洞化していきます。その結果消費が著しく落ち込み、民間の消費だけでは日本経済の立て直しが出来ないようになっているのです。ですから、今、国や

地方公共団体が率先して公共事業をし、雇用を確保するために人員の採用を増やしていく必要があります。当然そのためには借金も一時期増えるでしょう。しかし、その事によって経済のパイが大きくなりますから、最終的には税収が大きくなって戻ってくるのです。ですから、GDPを増やすことを先ず考えないとデフレは脱却出来ません。このことを我々が共通の認識にしなければならないと思っております。

いずれにしても、我々は民主党政権を倒すために自主防衛とデフレ脱却、この2本の旗を掲げ、これを皆様方への今年のお誓いとし、私のビデオレター終わらせて頂きます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。ありがとうございました。